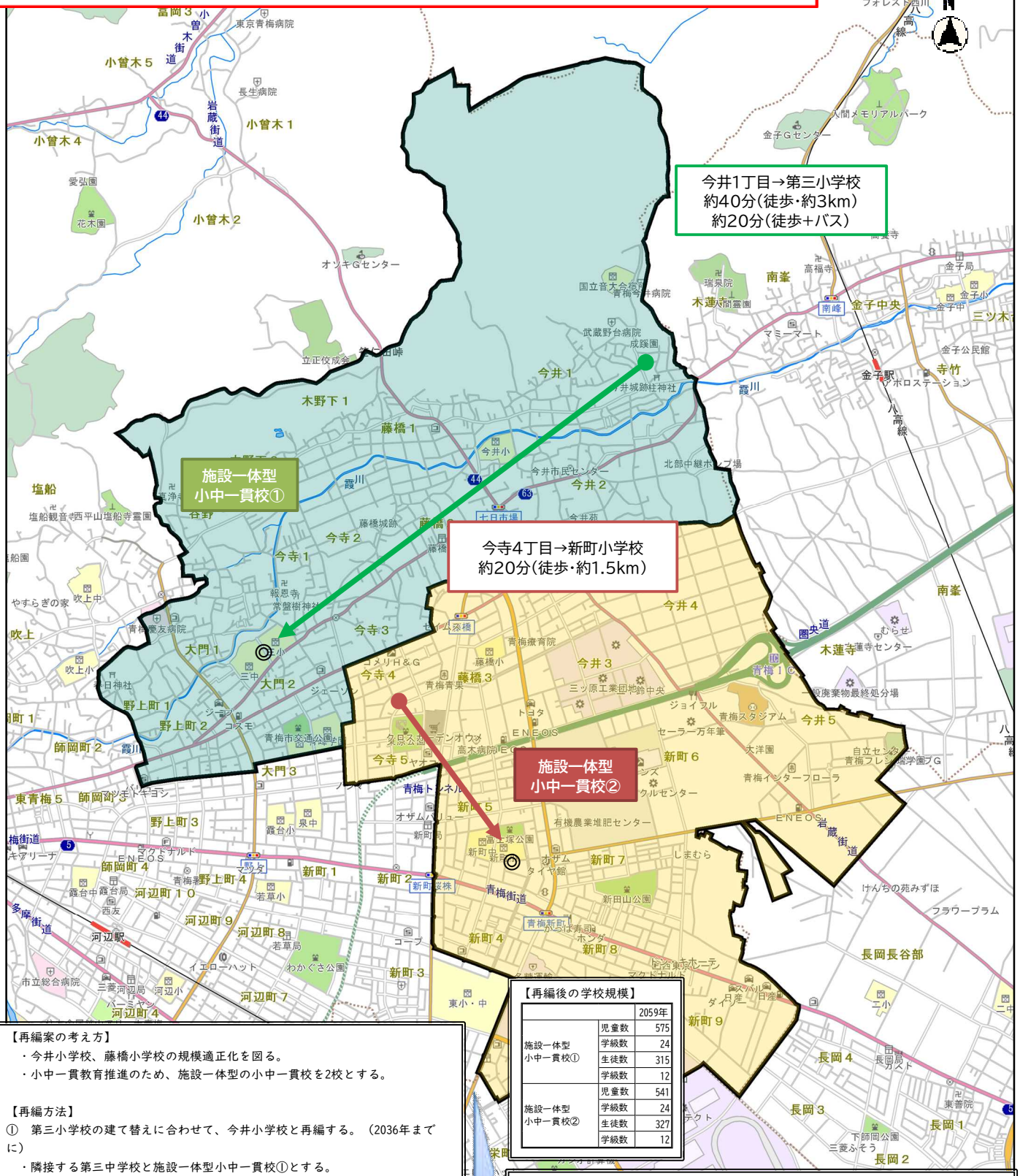
東部2地区（再編案B）

資料2－13

この資料は審議会での検討資料であり、決定事項ではありません



【再編案の考え方】

・今井小学校、藤橋小学校の規模適正化を図る。

・小中一貫教育推進のため、施設一体型の小中一貫校を2校とする。

【再編方法】

① 第三小学校の建て替えに合わせて、今井小学校と再編する。（2036年までに）

・隣接する第三中学校と施設一体型小中一貫校①とする。

② 新町小学校の建て替えに合わせて、藤橋小学校と再編する。（2042年までに）

・隣接する新町中学校と施設一体型小中一貫校②とする。

・第三小学校の規模が大きくなりすぎるため、学区の調整（今寺４丁目：施設一体型小中一貫校①（現第三小・中学校）→施設一体型小中一貫校②（現新町小・中学校）

【再編後の学校規模】

		2059年
施設一体型小中一貫校①	児童数	575
	学級数	24
	生徒数	315
	学級数	12
施設一体型小中一貫校②	児童数	541
	学級数	24
	生徒数	327
	学級数	12

【再編における効果】

項目	適正規模	適正配置	小中一貫教育
効果	◎	○	◎
内容	2059年まで望ましい規模を維持できる	一部公共交通を活用するが、２０分程度での通学が可能となる。	施設一体型小中一貫校が２校となる。

※色付きゾーンは小学校区を、黒枠は中学校区を表す。